

【テーマ8】 団体名 一般社団法人 全国私立大学教職課程協会（全私教協）

「運営の責任体制と自己点検・評価を核とした教職課程質保証評価に関する研究」

調査の概要

◆課題認識

教職課程に責任を持つ組織体制の確立、自己点検・評価の義務化が大学にとって課題となる。

◆調査研究の目的

これまでの取り組みの好事例を収集整理しつつ、学部、大学院、単科大学から総合大学における教職課程の運営組織体制確立と自己点検・評価の実施を通じた質保証評価の全体的な在り方を明らかにする。

◆調査研究の方法

- ・教職課程自己点検・評価の事例収集（好事例分析）
- ・自己点検・評価WEB調査の実施と分析 等

◆調査研究校

本協会加盟426校を対象とする。

◆現状

一般社団法人全国私立大学教職課程協会は8地区協議会（北海道から九州）426校の教職課程を有する私立大学からなる。

教職課程を実施する組織体制の形成、教職課程における自己点検・評価の実施が可能となる知見の提供が可能となり、具体的な課題である教職課程評価の在り方に対する知見を得ることとなる。

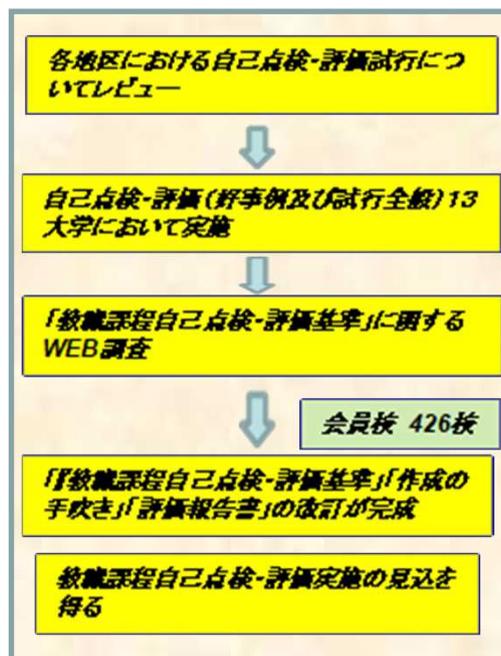
取組のポイント・成果

◆取組のポイント

- ①ポイントA
 - ・教職課程自己点検・評価試行に関する予備調査
- ②ポイントB
 - ・教職課程に責任を持つ組織体制の効果的事例収集のため調査13大学
- ③ポイントC
 - ・教職課程自己点検・評価の各種事例調査（好事例調査）
- ④ポイントD
 - ・教職課程自己点検・評価の実施と分析（オンライン調査として実施）
- ⑤ポイントE
 - ・教職課程自己点検・評価をレビューする地域組織及び当協会の果たす役割の検討
- ⑥ポイントF
 - ・「教職課程自己点検・評価基準」「評価報告書」「作成の手引き」の改訂が完成

◆成果

- ・これまで教職課程自己点検・評価が課題となっていたが、本年度13大学において試行調査を行い、現実に可能となった。
- ・本協会が昨年度委託事業において作成した「教職課程自己点検・評価基準」に関するWEB調査により、同基準を用いた各大学における自己点検・評価実施に向けた基準の改訂を行い、実施に向けた環境整備が進んだ。



今後の課題

- ◆ 令和4年度に予定される教職課程自己点検・評価の実施に向けた研究と準備を引き続き進める。

※ 上記項目については一例であり、適宜変更してかまわない。
 ※ 別紙イ-②については、文部科学省において公表する。